

とうべつ

手にとって ^{ぐ〜っと}good 身近に

議会だより



No. 208

令和4年2月1日発行

CONTENTS

11 月臨時会・12 月定例会

役場新庁舎、医療機関誘致、定住促進・・・ p.2

総務文教常任委員会、産業厚生常任委員会

6 人の議員が町の考えを質す・・・ p.4

- ・ 安心・安全の当別町に
- ・ 魅力ある公園施設で人口減少対策
- ・ 水田交付金見直し撤回を
- ・ リフレッシュ保育の周知徹底を
- ・ 障がい児通学支援の充実を
- ・ 全国学力テスト 全国平均上回る

国の米政策見直し案へ意見書を提出・・・ p.10

11 月臨時会・12 月定例会



明治 19 年に旧村立病院へ
移転した役場（写真左側）



明治 40 年に落成した役場庁舎



昭和 7 年に落成した役場庁舎



昭和 45 年に落成した役場庁舎

総務文教常任委員会（11/25、12/8）、産業厚生常任委員会（11/25、12/9、12/13）を開催し、町から11月臨時会や12月定例会に係る議案や報告についての説明があり、質疑を行いました。

町内医療機関の存続に向けて

産業厚生

何科を誘致するのか

問

条例では、「町長が認める診療科」を助成措置の対象条件としているが、町としては内科や小児科など、どの分野の医療機関が必要と考えているのか。

答

小児科が欲しいという声を多く聞くと、診療科を絞らず間口を広げた中で、町に必要な医療機関の誘致協議を進めていきたい。

産業厚生

既存の医療機関への支援は

問

町長就任後、早期に医療機関誘致条例を提案したことは評価するが、今後、既存の医療機関への支援も問われてくると思う。コロナ対策以外で、既存の医療機関への支援も検討しているのか。

答

今回の医療機関誘致条例を作っていく中で、既存の医療機関への支援も内容としては出てきている。内部的な協議を進めているところであるので、今後、お示しできると考えている。

定住人口増に向けて 最大 100 万円

新築住宅（建売を含む）を取得した世帯に対して、住宅購入費用の支援が行われます。区域や世帯状況により、最大で100万円が支援されます。

総務文教

定住促進条例

問

期間は、令和7年3月31日までだが、何世帯の転入を目標としているのか。また、新築と建売が支援対象とのことだが、中古住宅を購入して大規模な改修をした場合は対象にならないのか。

答

令和4年に100棟前後建てば、成果があるものと捉えている。また、今回はあくまでも建売住宅を含む新築住宅が対象。町内では中古物件が少ないため、新築物件に限り支援を行う考えである。

住宅購入支援 支援金額表

世帯区分		加 算 額		
		子育て世帯 (70万円)	複数世帯 (30万円)	単身世帯 (15万円)
基 本 額	当別町立地適正化計画に定める区域			
	居住誘導区域 (30万円)	100万円	60万円	45万円
	宅地造成区域 (30万円)	100万円	60万円	45万円
	宅地造成区域外 (20万円)	90万円	50万円	35万円
	用途地域外 (15万円)	85万円	45万円	30万円

※ 住宅を建てる区域、世帯構成によって支援金額が異なります。条件や期限など詳細については、当別町のホームページをご確認ください。



総務文教

今後の制度の拡充は

問

令和7年3月31日までの間でも、対象の拡充や支援金額の変更など柔軟に検討していくのか。それとも、まずはこれで進め、令和7年度以降については、実績を基に検討していくのか。

答

この期間中はあくまでも建売住宅を含めた新築住宅に対する支援。今後3年間で住宅購入状況等も変わるので、令和7年度以降は、対象の拡充なども含め、検討していきたい。

総務文教

他市町村との比較

問

子育て世帯に対して、子どもが1人も2人も3人も同じ額だが、子どもが1人増えれば部屋を増やそうとなる。その分建物価格も高くなるが、その辺りは、他の市町村に比べて遜色はないのか。

答

住宅支援制度の内容は、各市町村でバラつきがある状況。石狩管内では当別町だけが新築住宅に対する支援を行っており、差別化が図られている。道内で見ても劣っていないと考えている。

役場新庁舎 基本構想（素案）

新庁舎建設に必要な調査・審議を行うための新庁舎建設検討委員会設置の条例案が提出されました。また、新庁舎の基本理念・方針、適正な庁舎機能・規模と建設候補地、事業手法・進め方などの基本的な考え方や方針をまとめた基本構想（素案）が示されました。

総務
文教

新庁舎建設検討委員会

問

新庁舎建設検討委員会は、どのようなメンバーで、どの部分について協議をする会議なのか。

答

メンバーは、庁舎を利活用する関係者や関係団

体。例えば、まちづくり、子育て、福祉、防災などに関連する者が参加するイメージ。その他に公募も考えている。役割は、新庁舎の建設に関すること全般を審議していくこととしている。



新庁舎建設候補地

総務
文教

議会の議論や意見は

問

議会で新庁舎に関するさまざまな議論があった場合は、議会から新庁舎建設検討委員会に対して、何か申し入れや要望を出すという流れになるのか。

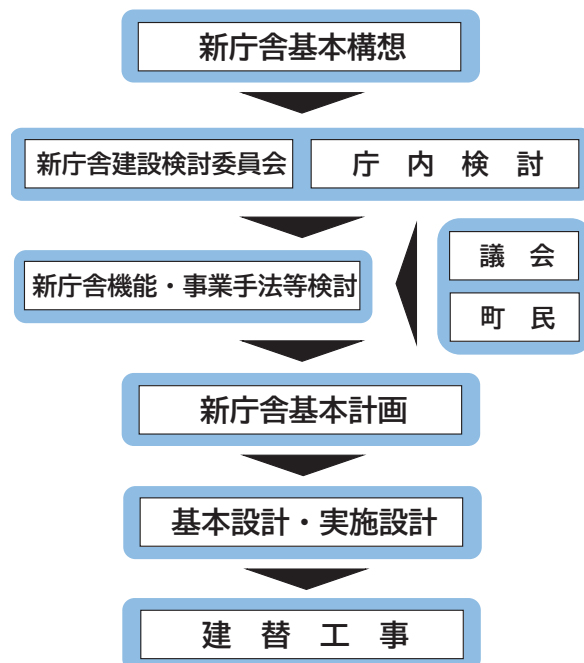
答

委員会でまとめた内容を基に、それぞれの計画案を町が組み立て、その内容も議会へ説明して承認をいただく流れ。また、検討を進める中でも、細かなことについては、その都度意見を伺いたい。

【その他の主な質問項目】

新型コロナウイルスワクチン接種の副反応疑い（産業）、事業者特別支援金・大規模施設感染防止対策等支援金・感染防止対策協力支援金（産業）、リモート会議用の機材整備（総務）、子どもプレイハウス運営業務委託（総務）、旧公民館裏車庫解体工事（総務）、福祉灯油助成事業（産業）、除排雪体制に係る人員（産業） など

庁舎建替工事までの手続きの流れ



基本構想	建て替えの方針、候補地、事業手法、必要な面積・機能、概算事業費等を検討し、庁舎建て替えに伴う基本的な考え方をまとめること。
基本計画	候補地・事業手法の確定、必要な面積・機能のまとめ、概算事業費等を検討し、庁舎建て替えの設計に向けた条件を設定すること。
基本設計	建物内・敷地内での配置、最終面積を確定させ、新庁舎の全体図を作成すること。
実施設計	基本設計の内容から詳細な設計図を作成し、これを基に工事を発注すること。

※ 役場新庁舎の検討に関する情報は、順次公開を進めていますので、詳細については、当別町のホームページをご確認ください。

総務
文教

ゆとろの機能の統合は

問

今回の基本構想（素案）では、ゆとろはそのまま、本庁舎のみの建て替えとなっている。手続きによっては窓口が分散する場合があると思うが、ゆとろと本庁舎の機能を一体的にする検討は、基

本構想の中で検討されているのか。

答

基本構想には入っていないが、今後の基本計画の具体的な内容を詰めていく中で、協議していくものと考えている。

次のページは

一般質問

6人の議員が登場し、町政に対する質問をしました。



一般質問

佐々木 常子 議員

質問の
ねらい

安心・安全の当別町に

家族であるペットもいざという時の準備が必要。厚労省では同行避難のガイドラインを発表しており、同行避難所や車中避難できる場所が必要である。また、防災情報や緊急時の情報発信が非常に重要である。現

在はホームページとヤフー防災アプリによる情報発信があるが、多くの人が使っているLINE※¹での情報発信も有効ではないか。ゴミの種類を入力すると分別方法と収集日が分かるLINEのシステムも有効である。

ここが聞きたい ペット同行避難と車中避難

問

人間だけでなく、ペットにもいざという時の準備が必要。同行避難所や車中避難の場所を作っては。

答

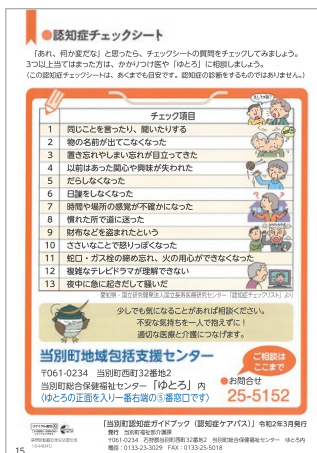
人命が最優先される避難所には、動物が苦手

な方やアレルギーのある方もいる。ペットの鳴き声等でトラブルも想定されるので、屋根付駐輪場などを検討している。また、安全な場所での車中避難や親戚宅等への避難も状況に応じ選択肢とするよう啓発していく。



※ 詳細はこちらからご覧になれます。(環境省自然環境局総務課動物愛護管理室のページへ)

災害時におけるペットの救護対策ガイドライン
(環境省ホームページより)



※ 詳細はこちらからご覧になれます。(当別町のホームページへ)

ここが聞きたい 脳の健康度測定を

問

今後も高齢化は進み、認知症の人が増えていくと予想される。早期発見により症状を進行させない対策を取ることもできるので、デジタルツールを使った脳の健康度測定を町として導入しては。

答

導入自治体があることは承知している。調査研究していく。また、早期発見・支援はきっかけ作りが重要。認知症ケアパスの中に、本人や家族が簡単にチェックを行えるよう工夫している。

当別町認知症ガイドブック 認知症チェックシート

ここが聞きたい LINE 情報発信・ゴミ分別

問

LINEを使って防災情報や緊急時の情報発信などを行っては。また、LINEでゴミの種類を入力すると、分別方法と収集日が分かるシステムを導入しては。

答

利用者の利便性向上につながるため、町としても活用する考えだが、情報漏えいの報道もあり、慎重に見極める必要がある。運用開始の準備が整い次第、広報紙やホームページでお知らせする。

ここが聞きたい 3歳児健診に屈折検査を

問

3歳児健診で屈折異常等が見逃された場合、治療が遅れて十分な視力が得られない可能性がある。視力検査に加えて屈折検査の実施を導入すべきでは。

答

令和3年に日本眼科学会から北海道に対し、屈折検査機器導入に関する要望書が出されたが、いまだに導入自治体が少なく、効果や検証が十分でないため、今後も情報収集に努めていく。

※ 1 LINE… ユーザー同士でメッセージのやりとり、音声通話、ビデオ通話などができるアプリケーション。

一般質問

澁谷 俊和 議員

質問の
ねらい

魅力ある公園施設で人口減少対策

長期間にわたって使用禁止の黄色いテープが貼られている公園の遊具やベンチなどが見受けられる。人口減少を食い止めるためにも、魅力ある公園や施設が必要である。さらに、住んでよかったと思える、安心して

長く住むことができる町営住宅を目指して、今後の町営住宅の展望について、現時点の計画の基本的な考え方を含めた概要について明らかにするよう質した。



黄色いテープが貼られた遊具

ここが聞きたい 使用禁止の黄色いテープ

問

公園の遊具やベンチで、壊れていたり、壊れる危険があるため、黄色いテープを貼り使用禁止としているものがあるが、それが長期間続いている状態が見受けられる。現状と改善の方向は。

答

9月末でベンチ8基、遊具20基を使用禁止とされていたが、ベンチは令和4年度に補修、遊具は12月中に全て撤去の予定。今後は、遊具等の種類や設置の必要性など地域実情を踏まえ見直す。

ここが聞きたい 住んでよかった町住建設を

問

町営住宅は築40年程度までは長寿命化計画で改善すべきだが、50年近く経つものが多く長寿命化計画では無理。年度内に示すと言っていた町営住宅の計画について現在の基本的な考えは。

答

現在の概要は、老朽化している末広団地や平屋の春日団地などは段階的に廃止し、新団地の建設を図る。比較的新しい春日団地は長寿命化を図る。二重投資とならないよう効率的に集約する。



末広団地

ここが聞きたい 車を気にせず歩ける道路を

問

高齢化社会で健康増進に関心が集まる中、やはり歩くことが大切。例えば太美基線川横の歩道は、車の心配なしで歩ける貴重な歩道。他にも安心して歩ける道路を増やすことが必要では。

答

現在、基線川堤防通路やライラック通りなどがあり、遊遊公園、阿蘇公園、当別川河川緑地などの園路もある。遊歩道の造成計画は、北海道と連携し、当別川かわまちづくり計画を進めている。

ここが聞きたい 町長選挙時の公報チラシ

問

前宮司という記載について、手続き自体していないにも関わらず、その責任を神社責任役員会やコロナ禍のせいにするのは、二重の意味で許せない。その点の町長の見解は。

答

9月議会答弁が全て。手続きする立場になかったことを説明し、誤解を招きかねない状況になった点は不徳の致すところと答弁したもので、第三者やコロナ禍等に責任転嫁する意図は全くない。



一般質問

鈴木 岩夫 議員

質問の
ねらい

水田交付金見直し撤回を

第6波への備え、コロナ対策と地域医療体制の整備について質す。当別農業・地域を壊す水田交付金見直しについて町長の認識を質す。新庁舎建設にあたっては将来を見越したまちづくりを展望した計画になるよ

うに、また、十分な説明とともに町民の意見が反映する形で進められるよう質す。風力発電建設計画撤回について意見書が採択されたが、事業を止められるかは未確定である。止めるための方策について質す。

ここが
聞きたい

医療・介護施設に支援を

問

今ある医療機関が継続することが先決である。1つの医療機関の閉院に伴い、医療現場は苦勞しているが、町長の認識は。また、医療・介護施設に対する第3弾の支援を実施すべきでは。

答

閉院した医療機関からの患者受け入れに伴い、苦勞されている状況は十分認識している。これまでの支援と同様に医療、介護現場の実情を把握した上で、必要な対策を検討していく。

ここが
聞きたい

オール当別で阻止を

問

政府と自民党は11月30日、米の転作助成の柱となる水田活用直接支払交付金の見直しを固めた。実施となれば、農業が基幹産業の当別町は、大きな影響を受けると考える。町長の認識は。

答

農業者所得の減少、農地売買や賃貸価格の下落など影響は広範囲に及ぶ。国の動向を注視し、継続して農業ができるよう農協など関係団体と連携を図り国に必要な対策を講ずるよう要請する。

ここが
聞きたい

職員の奮闘に冷や水

問

クラスター収束、ワクチン接種推進など、職員が奮闘している姿は町民の知るところ。コロナ禍での一時金削減は、その奮闘に冷や水を浴びせるものではないか。町長の認識は。

答

コロナによって民間企業は厳しい状況と認識。人事院勧告に基づく一時金削減は、今回見送りとなったが、次の6月に調整するとの情報もある。国や他自治体の状況を見て対応していきたい。



役場職員の様子

ここが
聞きたい

トップ同士の協議を

問

新庁舎の建設場所について、50年、60年と町民に愛され、使い勝手が良い場所を選ぶことが一番価値がある。駅前の農協が最適地と考えるが、再度、農協とのトップ協議を開始しては。

答

建設期間や費用の観点から、建設場所は町有地が基本。これまでも農協とは情報交換を行っているが、農協用地の活用を含め、駅周辺のまちづくりの観点から、引き続き協議を行っていききたい。

ここが
聞きたい

建設反対の立場を明確に

問

巨大風力発電所について、今までの議会答弁、請願・陳情採択に基づき、町として建設反対の立場を明確にすべきでは。

答

多くの町民が、この事業を進めるべきではない

と考えていることを重く受け止めている。建設の可否を国が判断する上で、地元自治体が意見を述べる場が確保されているので、そこで町民の声、議会の意向をしっかりと国や道に届けていく。

一般質問

佐藤 立 議員

質問の
ねらい

リフレッシュ保育の周知徹底を

町内認定こども園に在籍していない幼児は、保護者の育児疲れの解消を目的とした、いわゆる「リフレッシュ保育」として一時預かり保育を利用することができる。認定こども園に在籍している乳幼児についても

同様に、保育認定の範囲内で保護者の育児疲れや通院のため保護者が自身で保育ができない場合に、こども園を利用することができることを確認するとともに、その周知徹底を求めた。



※ 詳細はこちらからご覧
になれます。(当別町の
ホームページへ)

当別町子育てガイドブック

ここが聞きたい いわゆるリフレッシュ保育

問

育児疲れや通院等で保護者が保育できない時に、こども園の園児はこども園を利用できるのか。また、保護者に対して、このことの周知はどのように行われているのか。

答

認定こども園の裁量で受け入れている状況。周知について、園ではクラスだよりを活用していくとのこと。教育委員会としても、今後、子育てガイドブックに掲載して周知に努めていく。

ここが
聞きたい

10万円全額を現金で

問

子育て世帯への臨時特別給付は、子育て世帯を対象とした経済対策という制度の趣旨に立ち返り、利便性が高い現金給付が最適。10万円全額を現金で給付してはどうか。

答

まず5万円は、現金で年内に給付できるよう体制を整えていく。残り5万円は、ここ数日の報道のとおり国の方針も不透明なので、その動向を注視しつつ、年明け早々に給付方法を決定する。

ここが
聞きたい

プレイハウスの業務委託

問

プレイハウス業務委託プロポーザル※1で、プレゼンテーションも一般傍聴ができるようにすることや、保護者の代表の方に審査に加わっていただくことも検討をされているのか。

答

プレゼンテーションの一般傍聴については、検討していく。また、審査については、保護者の方にも審査委員として加わっていただくことを考えている。

ここが
聞きたい

高学年のプレイハウス利用

問

プレイハウスは、5、6年生の利用が少ない。これを自然のことでありと終わりにせずに、魅力あるプレイハウス作りに向けた取り組みが必要ではないか。

答

内容を子どもが面白い、保護者が良いと思うことは大事なので、子ども目線で考えていきたい。そういった面では、町の学童保育は良い内容で運営していると思う。

ここが
聞きたい

12月28日の開園時間

問

プレイハウスでは12月28日は午後3時までの預かり。年末年始等も保護者に寄り添った形で開園時間の設定が必要だが、委託仕様書の中で指示等があるのか。

答

保育時間の延長を含めた融通性については、当然、業者選定の基準になると思うので、業者選びの中で判断していきたい。

※1 プロポーザル方式…業務委託先などを選ぶ際に、事業者企画提案をもらい、最も優れた企画提案をした事業者を選ぶ方式。



一般質問

五十嵐 信子 議員

質問の
ねらい

障がい児通学支援の充実を

障がいを持つ児童がやむなく町外へ通学する場合にも、移動支援が利用できるよう制度を拡充させるべき。地域包括ケアシステムの仕組みづくりは、何より「地域づくり」である。太美地区にもその中心となる

地域包括支援センター分室を設置し、高齢・障がい・生活困窮・子育ての諸問題に、きめ細やかな対応ができる体制を目指すべき。地域の要望でもある危険の伴う道路や歩道の工事を進めるべきと質した。

ここが
聞きたい

地域の実情に即して実施を

問

障がいのある方の移動支援は、地域生活支援事業の必須事項として位置付けられており、内容は市町村の地域の実情に即して実施されることとなっているが、当別町の現状は。

答

単独で外出が困難な障がい者等が、映画鑑賞、買い物、理美容院の利用の際、介助を受けた場合は対象だが、通勤や通学等、通年で長期にわたる外出は対象外。他の多くの自治体と同様である。

ここが
聞きたい

通学を支援すべき！！

問

やむを得ず町外へ通学している児童は、毎日、保護者が自家用車で送迎することが条件となっているため、非常に大きな負担となっている。一日も早く通学支援の充実を行うべきでは。

答

充実させたいと考えている。特に冬の送迎の負担軽減を図る方策が、地域性を見ても重要。移動支援の拡充や送迎バスの運行などが考えられるので、教育委員会と連携し調査研究していく。

ここが
聞きたい

一目で分かりやすく！！

問

ゆとろ内の地域包括支援センター、社会福祉協議会の窓口が分かりづらいとの声がある。高齢者の立場に立ち、窓口が一目で分かるよう工夫すべきでは。

答

入口に館内案内図を設置しており、窓口に団体名の表示もしているが、迷われている方がいた場合には、職員が声をかけて案内している。工夫できる部分を工夫し、分かりやすい表示に努める。



ゆとろの窓口

ここが
聞きたい

西当別地区に分室を！！

問

地域の身近な相談窓口として地域包括支援センターは重要。西当別地区に分室を設置し、関係機関と連携して、要支援者や全ての高齢者へ、きめ細かに対応できる体制を目指すべきでは。

答

分室を設ける予定はない。地域包括支援センターは窓口の役割だけでなく、居宅介護支援事業所をはじめ関係機関と連携した対応があり、分室を設けても本来の役割を果たすことは困難。

ここが
聞きたい

道路の改修と歩道の整備を

問

危険な道路、歩道の整備は住民の長年にわたる願いである。高額な予算が必要にはなるが、優先順位を付けて、工事を進めていくべきでは。

答

危険性、緊急性などにより優先順位を付けて順次改修を図っている。限られた予算の中で、道路の機能確保に努めている。

一般質問

山崎 公司 議員

次のページは

議案の審議結果

本会議では、多くの報告や議決が行われました。

質問の
ねらい

全国学力テスト 全国平均上回る

子育て世帯の転入拡大に向けて、「教育の当別」と言われるように、毎年全国学力テストの結果には期待しており、自慢出来るとうべつ未来学の内容と併せて質した。また、公共施設について、児童生徒、65歳

以上の高齢者、町外居住者の利用料金について見直しを求めた。次に、当別町の課題解決に向けて、近隣市町村との広域連携やさっぽろ連携中枢都市圏には期待しており、進捗状況と今後の将来像について質した。



ここが
聞きたい

全国学力テストの結果

問 報道によると令和3年度の全国学力テストでは、石狩管内の小学6年生は全国平均を下回り、中学3年生は全国平均を上回ったとのこと。町内4校の結果と今後の対策は。

答 小・中学生でいずれの教科も全国平均を上回った。今後も教科担任制や1人1台端末、習熟度別学習、少人数学習などにより授業改善を進め、全国平均をはるかに上回る成果を目指したい。



当別町総合体育館（白樺町）

ここが
聞きたい

自慢のとうべつ未来学

問 当別ふるさと教育、国際理解教育、キャリア教育の3つの柱からなる「とうべつ未来学」について、令和3年度の実施内容と成果は。また、今後の予定は。

答 米作り等の生産体験、スウェーデンの日常や食文化を学ぶ学習、自分自身の将来について考える学習により、進路への興味や関心につながったと評価しており、今後も内容の充実に努めたい。

ここが
聞きたい

公共施設の適切な使用料金

問 公共施設を利用する人、しない人の受益者負担バランスの観点から、児童生徒は有料、町内外問わず高齢者は無料という現状の使用料を見直すべきでは。

答 児童生徒については、無料も含め負担軽減を考え、協議を進める。高齢者や町外利用者については、生涯学習や健康増進のため、交流人口増への配慮という理由から、現在、見直す考えはない。

ここが
聞きたい

さっぽろ連携中枢都市圏

問 協約には地域活性化、持続可能な経済、住民の安心で快適な暮らしの実現を目的に、圏域の経済成長の牽引、高次都市機能の集積・強化、生活関連機能サービス向上を行うとあるが、進捗状況は。

答 圏域観光ウェブサイトの多言語化、台湾、香港向けPR動画制作、移住促進イベント開催などを実施。令和4年度から、圏域公共交通計画の策定や公立夜間中学校の開校なども予定している。

ここが
聞きたい

未来技術の活用

問 圏域の目指す将来像として、住みたくなる、投資したくなる、選ばれる圏域へとある。特に未来技術を活用した圏域の形成が重要と考えるが、町としてはどのような取り組みを目指すのか。

答 GTFS^{※1}データを活用した公共交通のシームレス化^{※2}やデジタル図書の共有化、ビッグデータ活用の研究に力点を置き、デジタル田園都市の実現に向けた提案をしていきたい。

※1 GTFS…公共交通の経路や時刻表、リアルタイムの運行状況など、交通に関する情報の標準規格のこと。

※2 公共交通のシームレス化…電車やバスなど複数の公共交通の接続性を改良すること。

第3回臨時会（11/25）		結果	掲載ページ
◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数			
傍聴 8 名 議会中継視聴回数 38 回（1/20 現在）			
【専決処分】※専決処分の承認を求めるもの			
令和3年度一般会計補正予算（第9号） 感染防止対策協力支援等に伴う費用を増額補正し専決処分したので、報告し承認を求めるもの	◎	—	
【補正予算】			
令和3年度一般会計補正予算（第10号） 5,104万円を増額し、総額を156億6,880万円とするもの	◎	—	
【請願・陳情】			
《令和3年第3回定例会（9月）産業厚生常任委員会へ付託》 西当別風力発電事業（風車建設）の中止を求める意見書採択についての陳情書 〔提出者〕風力発電を考える当別町民の会 呼びかけ人代表 手代木 隆二	採 択	p.11	
《令和3年第3回定例会（9月）産業厚生常任委員会へ付託》 石狩市厚田区聚富・望来と石狩市八幡町高岡八ノ沢及び当別町西当別風力発電事業に反対する陳情書 〔提出者〕厚田区有志 福岡 幸一 他2名 他3団体	採 択	p.11	
《令和3年第2回定例会（6月）産業厚生常任委員会へ付託》 当別町西当別風力発電事業の白紙撤回を求める意見書の採択を求める請願書 〔提出者〕太美地域社会保障勉強会 会長 菊地眞生 他4団体 〔紹介議員〕当別町議会 議員 鈴木 岩夫	採 択	p.11	

第4回定例会（12/7～12/14）		結果	掲載ページ
◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数			
傍聴 9 名 議会中継視聴回数 606 回（1/20 現在）			
【議員提案】			
当別町議会委員会条例の一部改正について	◎	p.10	
地球温暖化、海水温上昇に伴う水産漁業被害の解明と支援策を求める意見書	◎	—	
令和4年度の米政策見直しに伴う地域農業への影響緩和を求める意見書	◎	p.10	
【人事案件】			
固定資産評価審査委員会委員の選任について 橋本俊一氏の任期満了に伴い、新たに井田年治氏を選任するもの	◎	—	
固定資産評価審査委員会委員の選任について 高田修二氏の任期満了に伴い、同氏を再任するもの	◎	—	
【補正予算】			
令和3年度一般会計補正予算（第11号） 5億970万円を増額し、総額を161億7,850万円とするもの	◎	p.2 ～ p.3	
令和3年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 58万円を増額し、総額を21億7,192万円とするもの	◎	—	
令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 278万円を増額し、総額を2億7,489万円とするもの	◎	—	
令和3年度介護保険特別会計補正予算（第2号） 3,442万円を増額し、総額を17億1,035万円とするもの	◎	—	
【条例】			
当別町定住促進条例制定について 定住を目的とした住宅取得を推進するための条例制定	◎	p.2	
当別町新庁舎建設検討委員会条例制定について 当別町新庁舎建設検討委員会を設置するための条例制定	◎	p.3	
当別町国民健康保険条例の一部改正 健康保険法施行令の一部改正に伴う条例の一部改正	◎	—	
当別町医療機関誘致条例制定について 医療機関誘致を推進するための条例制定	◎	p.2	
当別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴う条例の一部改正	◎	—	

トピックス

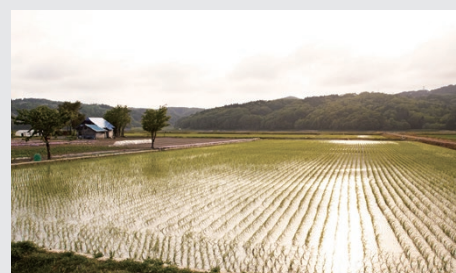
当別町議会委員会条例の一部改正について



新型コロナウイルス等感染症のまん延防止、災害の発生等によって、委員会の開催場所へ集まることが困難な場合に、オンラインによる委員会への参加を可能とするため、条例の一部改正を行いました。

トピックス

令和4年度の米政策見直しに伴う地域農業への影響緩和を求める意見書



米から他の作物への転作を促すために農家に支払われる「水田活用の直接支払交付金」について、国から令和4年度以降の見直し案が示されており、今後5年間、米を作らない農地は、新たな作物が定着したものとみなし、交付対象から外すといった内容などが盛り込まれています。

しかし、これが実施されると、水田維持の取り組みの停滞、農家戸数の減少、耕作放棄地の増大など、当別町農業の崩壊につながる懸念があるため、交付金のルール設定にあたっては、生産現場の意見を十分に取り入れ慎重な検討を行うことなどを町議会の意見として国へ提出しました。

討論

新型コロナ禍による米危機の改善を求める意見書の採択を求める請願書

採択すべき 鈴木議員



政府が責任を果たすべき

政府が在庫米の買い上げや赤字補填などを行うべき。ミニマムアクセス米の輸入抑制も必要。

不採択すべき 岡野議員



政府は既に対策を取っている在庫米買い取りや生活困難者への食糧支援制度など、政府は既に対策を取っている。

【賛否が分かれた採決の公表】

櫻井	佐々木	佐藤	西村	五十嵐	鈴木	山崎	秋場	瀬谷	山田	古谷	稲村	島田	岡野
不	不	不	不	不	採	不	不	不	不	不	不	不	不

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。
※「採」は採択すべき。「不」は不採択すべき。

【契約】

とうべつ学園備品購入（校用）契約について

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議会の議決を得ようとするもの

◎

—

とうべつ学園備品購入（教材）契約について

議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例の規定により、議会の議決を得ようとするもの

◎

—

【請願・陳情】

《令和3年第4回定例会（12月）産業厚生常任委員会へ付託》
国立病院の機能強化を求める意見書提出に関する陳情について
〔提出者〕全日本国立医療労働組合北海道地方協議会 議長 大塚 成治

採

—

《令和3年第3回臨時会（11月）産業厚生常任委員会へ付託》
西当別風力発電事業計画の白紙撤回を要請する採択の陳情書
〔提出者〕スウェーデンヒルズ町内会 会長 森田 利幸

採

p.11

《令和3年第3回臨時会（11月）産業厚生常任委員会へ付託》
（仮称）石狩郡当別町西当別風力発電事業に反対する陳情書
〔提出者〕（仮称）石狩郡当別町西当別風力発電事業に反対する
西当別連絡協議会町内会長の会 代表 石田 洋三

採

p.11

《令和3年第3回定例会（9月）産業厚生常任委員会へ付託》
新型コロナ禍による米危機の改善を求める意見書の採択
を求める請願書

不

p.11

〔提出者〕当別町農民同盟 委員長 堀 梅治 他4団体
〔紹介議員〕当別町議会 議員 鈴木 岩夫

不

討論

トピックス

（仮称）石狩郡当別町西当別風力発電事業の白紙撤回や反対などを求める請願・陳情5件を採択しました

とうべつ議会だより第207号にも掲載した民間事業者による風力発電事業計画について、風車の建設は自然環境や生活環境へリスクを与えるなどの理由から、事業の白紙撤回や反対などを求める請願・陳情が5件提出されていました。それぞれ産業厚生常任委員会において慎重に審議した結果、11月臨時会と12月定例会において、5件全てを採択としました。

総務文教
常任委員会

一般質問を踏まえ
さらなる議論を



当別町図書館 館内

以前から一般質問で取り上げてきた小中学校のトイレ洋式化や町立図書館をどのように運営するかという課題について、総務文教常任委員会として、今後も調査を行い、議論を重ねていく方針としました。

議員表彰

北海道社会貢献賞（自治功労者）表彰

12/8 表彰式

島田裕司議員が、長年にわたる議員活動が認められ、令和3年度北海道社会貢献賞（自治功労者）を受賞されました。

12月8日に開催された表彰式では、鈴木直道知事より島田議員へ表彰状が贈呈されました。

※北海道社会貢献賞：多年地方自治の進展、社会福祉の増進等に貢献し、その功績が顕著なもの



島田 裕 司 議員

議会のうごき（令和3年12月～令和4年1月）

12月7日 議会運営委員会 議員協議会
第4回定例会
8日 総務文教常任委員会
9日 産業厚生常任委員会
10日 第4回定例会
13日 第4回定例会
産業厚生常任委員会
議会運営委員会

12月14日 議会運営委員会 議員協議会
第4回定例会 議員協議会
議会広報特別委員会
27日 議会広報特別委員会
1月7日 議会広報特別委員会
21日 総務文教常任委員会
会派代表者会議

議場での傍聴について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議場の傍聴を制限しています。ご協力をお願いします。また、インターネット中継も行っているため、インターネット環境のある方は、可能な限りそちらをご利用ください。



傍聴席を制限

令和4年3月定例会のご案内

予定 3月3日(木)～3月18日(金)

内容 令和4年度予算審査、
補正予算、一般質問など

傍聴 本会議や委員会も傍聴できます。

議会インターネット中継

本会議と常任委員会のライブ中継や録画配信をインターネットにより配信しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。



※日程が決まり次第ホームページへ掲載します。

ご意見ご感想をお寄せください

議会だよりの編集について、ご意見・ご感想がありましたら、下記連絡先へご連絡ください。今後の参考とさせていただきます。

議会事務局

〒061-0292 石狩郡当別町白樺町58番地9
TEL 0133-23-3247 FAX 0133-23-4474
E-mail gikai@town.tobetsu.hokkaido.jp

議会広報特別委員会

委員長 五十嵐 信子
副委員長 鈴木 岩夫
委員 佐藤 立
委員 佐々木 常子
委員 櫻井 紀栄

編集後記

12月議会では、新たに定住促進条例と医療機関誘致条例が提案されました。次の3月議会には、昨年就任した後藤町長がまとめた初めての新年度予算案が提案されます。また、役場新庁舎の議論も本格化します。3月議会では、これらの重要な議題についてさまざまな角度から議論が行われます。議会だよりでも、何が議論されているのかを分かりやすく整理してご紹介して参りますので、気になる点やもっと詳しく知りたいことなどについて、ご意見をいただければ幸いです。

議会広報特別委員会 委員 佐藤 立